

□ 「キズナ強化プロジェクト」で来日したNYの高校生と交流しました。

「キズナ強化プロジェクト」とは、東日本大震災の被災地復興支援として行われる日本とアジア・大洋州地域および北米地域との青少年交流事業です。日本再生に関する外国の理解を深めるとともに、原発事故などをめぐる風評被害に対して効果的な情報発信を行うことを目的に、日本政府（外務省）により進められています。

アメリカからは高校生1000名が短期招へい（14日間）で来日し、被災4県（宮城県・岩手県・福島県・茨城県）で復興状況を視察し、ボランティア活動等を行う他、各地で交流活動を行っています。

本校には、ニューヨークにあるクラークスタウン高校の生徒23名とお二人の先生が来校しました。7月10日、11日の2日間の交流でしたが、素晴らしい交流となりました。

柔道、剣道、茶道、書道などの体験やホストシスター／ブラザーである本校生との交流などを通じて、「キズナ強化プロジェクト」に大きく貢献できたと思います。

クラークスタウン高校の生徒たちや本校生の笑顔が印象的でした。



